

ANNUAL REPORT 2021

YUMINO medical

〒171-0033 東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル2F

TEL 03-5956-8010 FAX 03-5950-0108

ゆみのハートクリニック

〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル1F

ゆみのハートクリニック 渋谷

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町25-18
NT渋谷ビル2F

ゆみのハートクリニック 三鷹

〒181-0012
東京都三鷹市上連雀2-2-1
ネベル三鷹2F

ゆみの訪問看護ステーション

〒161-0034
東京都新宿区上落合2-9-16
インテック落合207

ゆみの在宅医療・管制塔センター

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-51-10
PORTAL POINT HARAJUKU 701

のぞみハートクリニック

〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラストタワー1F

わかばハートクリニック

〒810-0073
福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39
福岡舞鶴スクエア1F





その人らしい人生を

わたしたちは、医を通して、
その人らしい人生をサポートします



チームとともに

わたしたちは、社会的使命を自覚し、
ひとりひとりがチームとともに成長します



未来へむかって

わたしたちは、変化を楽しみながら、
未来へむかってチャレンジします

2021年もCOVID-19に対峙しながら過ごした一年でした。そのような中、4月には5つ目の拠点として「ゆみのハートクリニック三鷹」が開院、遠隔看護を行う「ゆみの在宅医療・管制塔センター」を新設し、東京・大阪の多くのかかりつけの患者さんに、より細やかに対応できる体制を整えてまいりました。また当法人では、コロナ禍前より、時代の変化やニーズに応えるべく、デジタルとアナログを融合させた柔軟な医療提供を行ってきました。これらの経験は、COVID-19による社会変化の中において、私たちにできる社会貢献の可能性を広げてくれるものと感じております。引き続き、その人らしいLIFEに寄り添う医療を提供できるよう努めてまいります。

医療法人社団ゆみの 理事長 弓野 大

私たち医療法人社団ゆみのは、
地域で外来と在宅での医療を行う
総合内科クリニックを運営しています。

- 外来診療
- 訪問診療
- 訪問看護
- 訪問リハビリテーション



のぞみハートクリニック
〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラストタワー1F

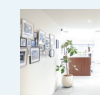


わかばハートクリニック(2022年5月開院予定)
〒810-0073
福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39
福岡舞鶴スクエア1F

FUKUOKA

OSAKA

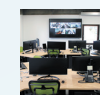
TOKYO



医療法人社団ゆみの
〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル2F



ゆみのハートクリニック
〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル1F



ゆみの在宅医療・管制塔センター
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-51-10
PORTAL POINT HARAJUKU 701



ゆみの訪問看護ステーション
〒161-0034
東京都新宿区上落合2-9-16
インテック落合207



ゆみのハートクリニック 三鷹
〒181-0012
東京都三鷹市上連雀2-2-1
ネベル三鷹2F



ゆみのハートクリニック 渋谷
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町25-18
NT渋谷ビル2F

2012年の開院以来、拠点やネットワーク、新規事業を展開し、活動を広げています。

2012	東京「ゆみのハートクリニック」開院	2019	東京「ゆみのハートクリニック渋谷」開院
2014	医療法人社団ゆみの 設立	2020	東京「ゆみの訪問看護ステーション」開設
2015	訪問リハビリテーション事業 開始	2021	東京「ゆみのハートクリニック三鷹」開院
2017	訪問看護事業 開始		「ゆみの在宅医療・管制塔センター」開設
2018	大阪「のぞみハートクリニック」開院	2022	福岡「わかばハートクリニック」開院予定

外来診療

かかりつけ患者さんの診療を止めることなく、
コロナへの対応も積極的に行った一年でした。



総外来件数
(法人合算)

35,123件

[前年比 111%]



オンライン診療件数
(法人合算)

481件

[前年比 113%]

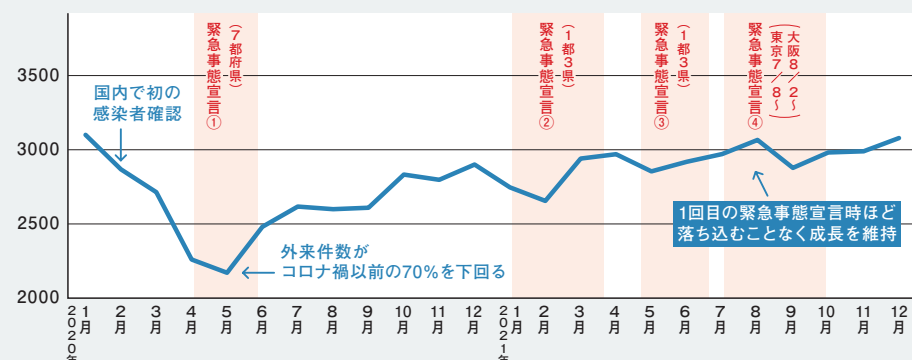


CPAP
管理台数

1,337台

[前年比 106%]

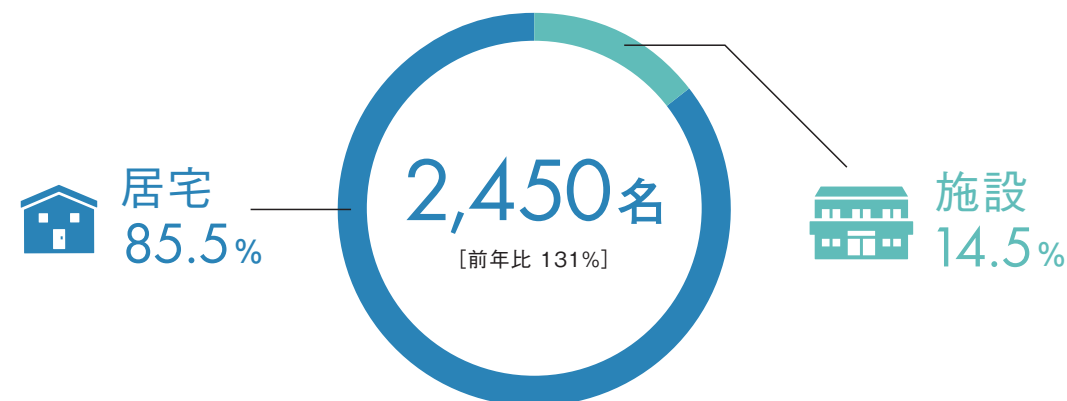
コロナ禍における
外来件数の推移
(法人合算・月単位)



訪問診療

訪問診療のニーズは年々増加しており、
2021年の在宅管理患者数は前年比131%となりました。

在宅管理患者数 ※2021年12月現在
(法人合算)



訪問診療件数
32,104件



往診数 (緊急・夜間を含む)
3,626件



再入院率
4.2% ※全入院数÷各月初めの
患者管理数の和



看取り数
320件

訪問看護

一人ひとりに寄り添う
あたたかい訪問看護を提供しています。



訪問看護利用者数
130名



訪問件数
7,783件

訪問リハビリテーション

コロナ禍で外出が難しい状況下で、
より需要が高まっています。



訪問リハビリテーション件数
20,393件

オンライン
リハビリテーション件数
66件

スタッフ体制

多職種のスタッフが連携することで、
地域に根ざした質の高いチーム医療を実現しています。

スタッフ総数 ※2021年12月時点 非常勤を含む

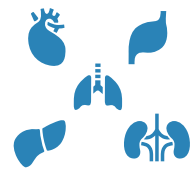
306名
[前年比 +63名]



医師 ※常勤・非常勤

66名

[前年比 +11名]



専門医
55名
(19科目)



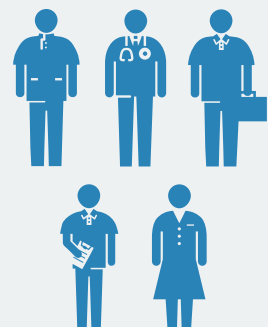
看護師 ※常勤・非常勤

47名

[前年比 +10名]



心不全
認定看護師
4名



リハビリテーション
[理学療法士／作業療法士／言語聴覚士] 31名 [前年比 +6名]

臨床検査技師 26名 [前年比 ±0名]

医療ソーシャルワーカー 11名 [前年比 +2名]

医療事務 [外来／訪問] 40名 [前年比 +8名]

訪問診療コーディネーター 34名 [前年比 +11名]

訪問診療ドライバー 12名 [前年比 +3名]

本部およびその他 39名 [前年比 +12名]



心不全療養指導士 資格所有者 16名

働く環境

福利厚生や各種制度を整備し、
スタッフの多様なキャリアや働き方を支援しています。



離職率
2.5%

※2021年常勤退職者数÷2021年4月時の常勤数



育休取得者
14名



時短勤務者
4名



管理職男女比

11:9
男性 女性



学会活動ほか

臨床における経験や課題解決など、
私たちの知見を広く発信する活動を行っています。



学会発表数
75回 [前年比 +30回]

主な学会登壇履歴

- 日本循環器学会
- 日本呼吸器学会
- 日本心臓リハビリテーション学会
- 日本心臓病学会
- 日本循環器看護学会
- 日本睡眠学会
- 日本心不全学会
- 日本在宅医療連合学会



メディア

- NHK Eテレ TVシンポジウム「心不全パンデミックに備える～高齢者の心臓を守る～」
- 毎日放送「医のココロ」
- NHK 総合「首都圏ネットワーク」
- NHK Eテレ「チョイス@病気になったとき」

地域医療を推進するための新たな拠点として。

「ゆみのハートクリニック三鷹」を開院

2021年4月1日に、5つ目の拠点となる「ゆみのハートクリニック三鷹」を開院いたしました。これにより、これまで都内23区であった訪問診療エリアが武蔵野地区まで拡張されました。

「ゆみのハートクリニック三鷹」の院長には、これまで高田馬場の「ゆみのハートクリニック」にて訪問診療に携わってきた鈴木豪医師が就任。訪問診療に特化したクリニックとして、患者さんがご自宅で安心して暮らせる毎日をサポートしています。

患者さんが、慣れ親しんだ地域でこれからも安心して生活できるように、何でも相談できる存在として、「チーム三鷹」で支えることのできるクリニックでありたいと思います。今後も、コロナ禍だからこそ求められている地域医療を推進してまいります。



院長 鈴木 豪 (すずき つかし) 循環器専門医・内科認定医

東京女子医大病院循環器内科で心不全患者を中心に長年臨床と研究の研鑽をつみ、多くの医師をマネジメントする医局長に着任、2019年までドイツ留学にて高齢者のフレイル、リハビリテーションに関する医学研究を行ってきた。疾患にかかわらず、「その人らしいLIFE」を大切に、地域医療を行っている。



訪問診療×遠隔看護の先端モデルケースを。

全拠点をつなぐ「管制塔センター」を開設

2021年7月1日、東京都渋谷区に、訪問診療の患者さんを24時間365日体制で遠隔支援する「ゆみの在宅医療・管制塔センター」を開設いたしました。

「管制塔センター」とは、看護師を中心とした医療チームが遠隔で24時間365日サポートする施設。すべてのエリア、すべての患者さんに“ゆみの”の医療を均一に提供するための仕組みです。

具体的には、病院以外のご自宅などで療養されている患者さんに対して、体調を管理するモニタリングを行い、急変時には医師の緊急往診など迅速に対応できる体制を整えています。また、地域の訪問看護師、ケアマネージャー、薬剤師等との連携を行い、地域医療をつなぐ要としての役割も担っています。

また、管制塔センター開設と同時に、東京・大阪の各拠点到モニターを設置。全拠点が24時間365日つながることにより、離れていてもチームメンバーの様子や動きを把握し、適切なコミュニケーションをとることができています。

これにより、多くの在宅患者さんを医療者が適切な距離で見守り、異変時には迅速に対応できる体制をより強化することが可能となります。



管制塔センターを通して当法人が目指すのは、医療スタッフの教育、医療提供の均一化を図り、「訪問診療×遠隔看護」による地域医療の先端モデルケースを構築すること。そして、安心して在宅療養を継続できる社会の実現です。これからも私たちは、患者さんのニーズに応じた地域医療の推進、新たな取り組みに積極的にチャレンジしてまいります。

理念や働き方をより広く知っていただくために。

「採用Webサイト」をリニューアル

2021年11月に、採用サイトをリニューアルいたしました。当法人ではどのような環境や制度のもとで、職員自身の「その人らしい人生」の実現を目指して働くことができるのか。求職者の方に向けて、当法人で働く姿をより具体的にイメージしていただけるよう、インタビュー記事も数多く掲載しました。

また、リニューアルに伴い、「採用メッセージ動画」も新たに制作しました。動画内では、実際の診療の様子とともに、理事長や院長のメッセージなどもご紹介。当法人の理念や活動、そして未来について、わかりやすくお伝えしています。



ゆみの採用サイト

<https://www.yumino-medical.com/recruit/>



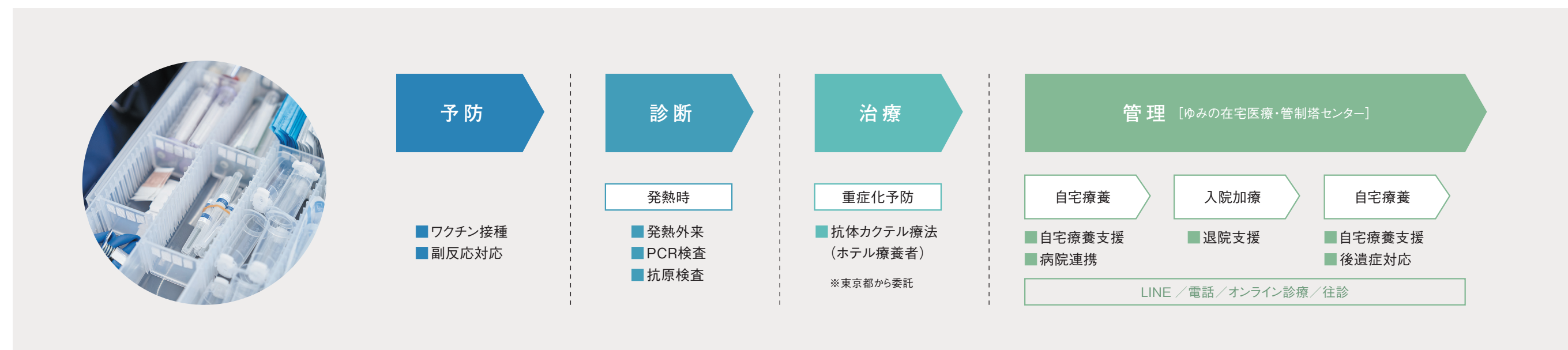
感染拡大防止のため、スタッフ一丸で予防から管理まで。

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への取り組み」を振り返って

2021年も、複数回の感染の「波」や緊急事態宣言の発令、デルタ・オミクロンなどの変異株の出現と、新型コロナウイルス感染症に立ち向かう一年となりました。また、感染者数や変異株の特性などによって、罹患リスクや重症度にも都度変化がありました。当法人が2021年に行ってきた取り組みについて振り返ります。



●当法人は、大きく4つのフェーズで感染拡大防止に取り組んでまいりました。



予防

外来診療・在宅診療におけるワクチン接種、企業への職域接種、接種後の副反応対応

国全体の接種率の底上げが期待される中で始まった職域接種において、当法人はこれまでに計24,000回以上の接種を実施しました。各企業と話し合いながら、会場レイアウト、必要物品などの準備段階から関わり、またワクチン接種後のアフターフォローとして、無料通信アプリ「LINE」による副反応相談、オンライン診療などにも対応いたしました。

診断

発熱外来を設置し、迅速抗原検査、PCR検査

当法人では、2020年より発熱外来を設けています。他の患者さんとは時間的に隔離し、PPEはじめ万全な感染対策を行ったうえで、検査・治療を実施しています。

治療

抗体カクテル療法を実施している宿泊療養施設への医師・看護師派遣

東京都の宿泊療養施設となっていた品川プリンスホテルでは、重症化を防ぐ「抗体カクテル療法」が実施され、当法人は東京都からの依頼を受け、民間の医療機関として対応にあたりました。症状出現から7日以内で、かつ50歳以上や心疾患や呼吸器疾患など重症化リスクを有する、酸素投与を要さない方を対象に、2021年9月には163例に投与を行いました。発症から投与までの平均日数は5.0日、その後のホテル療養期間中の救急搬送はそのうち8例(4.9%)であり、このうち7例は発症から5日以上経って抗体カクテル療法が実施されていました。発症からより早期での投与が望ましいと考えられます。

管理

自宅療養者への往診と遠隔管理

入院が必要と判断されても受け入れ先が見つからない自宅療養者に対しては、自治体、保健所、医師会と連携のうえ、往診やオンライン診療を実施しています。「ゆみの在宅医療・管制塔センター」では、24時間体制で看護師や医師により、ITを用いた遠隔支援を行っています。また、長引く咳症状や息切れなど、呼吸器症状に対する後遺症への診察を行う「コロナ後遺症外来」も設置いたしました。発症日から2週間以上経過している方、隔離期間解除後も上記の症状がみられる方を対象とし、呼吸器専門医による問診や、必要に応じて検査を行っています。